



東京女子医科大学腎臓病総合センター泌尿器科



逆行性尿道造影を受けられる患者様への説明文書

■逆行性尿道造影とは？

男性の外尿道口（亀頭の先）から、尿の流れとは逆の方向に（逆行性に）造影剤を尿道内に注入し、その間にレントゲン撮影を行って尿道の形を詳しく調べる検査です。時間は 15 分程度です。

■逆行性尿道造影で何がわかるか？

尿道の形がわかります。尿道の狭窄や前立腺肥大症の場合必要な情報が得られます。

■合併症は？

感染：滅菌された器具を用いますが、検査後膀胱炎のような症状がでたり、前立腺炎、精巣上体炎を起し熱が出る場合があります。疼痛：造影剤が尿道に入る時、違和感や軽い痛みがあります。

血尿：尿道がこすれたりして一時的に血尿がでることがあります。

造影剤自体の副作用：まれに注入された造影剤が少量血管内に入り、造影剤へのアレルギー反応が生じることがあります。症状をみて対処を行います。

■対処方法

感染に対しては検査後数日抗生剤を内服していただきます。また、十分な水分補給を行って下さい。発熱した場合は点滴の抗生剤を使用することがあります。

血尿がひどい場合は一時的に止血のための処置を行うことがあります。

ご不明な点がありましたら主治医にお尋ねいただくか、泌尿器科外来ケアルームまでお知らせ下さい。

泌尿器科外来ケアルーム 電話(03)3353-8111 内線 21313-4

逆行性尿道造影を受けられる患者さんへの説明文書

東京女子医科大学泌尿器科学教室

Department of urology, Tokyo women's Medical University.

以上の点について説明を受け、よく理解し、処置に同意します。

平成 年 月 日 患者氏名

患者家族氏名

その他、特に説明した内容

a)

-

b)

-

以上の点について、患者、患者家族に十分説明しました。

説明医